

# REDDプラスへの取組動向 Country Report 平成27年度 タンザニア連合共和国



## contents

---

概要情報	1
1 森林の概況	2
1.1 経年変化	2
1.2 今後の森林計画等	3
2 REDDプラスへの取組状況	4
2.1 取組開始	4
2.2 REDDプラス実施体制	4
2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加	5
2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計	6
2.5 活動スケジュール及び資金計画	8
2.6 REDDプラスへの取組(年表)	10
3 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	11
3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況	11
3.2 日本の支援事業	14
4 その他	15
4.1 UNFCCCへの関与情報	15
4.2 UNFCCCへ提出している森林情報	15
4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策	16

# 概要情報



## 自然条件

森林被覆率	35.3% (2010年)	森林減少率	1.16%/年 (2005-2010年)
-------	------------------	-------	-------------------------

## ガバナンス

フォーカルポイント	国家REDDタスクフォース	主管官庁	天然資源・観光省
-----------	---------------	------	----------

国ベースの取組進捗				
実施体制整備	国家戦略策定	モニタリングシステム整備	参照レベル開発	セーフガードに係る規定
○	○	△	—	—

「○」は準備段階で整備が整ったもの、「△」は整備途中、「—」は未実施もしくは顕著な進捗がないもの。

## 支援

国際イニシアティブへの参加状況	世界銀行FCPF	○（準備基金）
	UN-REDD	○
	その他	—

支援額	145百万米ドル	主なドナー	デンマーク、フィンランド、ノルウェー
日本からの支援額	0.6百万米ドル		

## わが国の取組状況

JCMに関する情報	協定締結	—
	REDDプラスの取扱い	—
	REDDプラス事業の有無	—

その他の取組	国・準国ベース	—
	PJベース	—

# 1

## 森林の概況

- タンザニアは国土の約35%が森林であり、森林のうち天然生林が約99%、植林地が約1%となっている<sup>1</sup>。タンザニアの森林は、半落葉熱帯降雨林、サバンナ林、半落葉熱帯山地降雨林に大別される。半落葉熱帯降雨林はタンザニアの西側の高原及び台地に広く分布している<sup>2</sup>。
- タンザニアでは、タンザニア森林サービス機構(Tanzania Forest Services Agency : TFS)が森林管理の主管組織である。
- 森林率(国土面積に占める森林面積割合)は、1990年の約44%から2010年の約35%へと減少した<sup>1</sup>。タンザニアは、2000～2010年の森林減少面積が世界第5位(森林面積の平均減少速度400千ha/年)であった<sup>3</sup>。
- 森林減少・劣化の要因は、保護林への不法侵入、耕作地への転換、山火事、違法伐採、鉱山開発、薪採取、バイオ燃料生産のための大規模農業の導入等がある<sup>3</sup>。
- タンザニアは35,300千haの森林を有し、そのうち18,300千haは保護林(Reserved Forests)である。保護林のうち1,600千haは水源涵養林と生物多様性及び土壌保全を目的とした森林であり、2,000千haは野生動物保護区である。さらに、80千haの保護林は政府が所轄する16の植林林業(Plantation Forestry)対象地であり、4,100千haは参加型森林管理(Participatory Forest Management : PFM)の対象地である。上記保護林以外の17百万haを越える森林には適切な管理の枠組みがなく、森林減少が顕著である<sup>4</sup>。

### 1.1 経年変化

表 1-1 タンザニアの概況

	1990年	2000年	2010年
人口(中位推計) <sup>5</sup> (千人)	25,479	34,038	44,841
GDP <sup>5</sup> (百万米ドル)	4,259	10,186	22,915
1人あたりGDP <sup>5</sup> (米ドル/人)	377	567	1,044
GDP成長率 <sup>5</sup> (%)	7.0	4.9	7.0
国土面積 <sup>6</sup> (千ha)	94,730	94,730	94,730
森林面積 <sup>6</sup> (千ha)	41,495	37,462	33,428
森林率(%)	43.8	39.5	35.3
年平均森林減少面積 <sup>6</sup> (千ha/年)	-	403	403
Primary Forest <sup>6</sup> (千ha)	0	0	0
Other naturally regenerated forest <sup>6</sup> (千ha)	-	-	33,188
Planted Forest <sup>6</sup> (千ha)	150	200	240
Carbon stock in living forest biomass <sup>6</sup> (百万t)	2,505	2,262	2,019

(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

<sup>1</sup> 出典：FAO(2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

<sup>2</sup> 出典：海外林業コンサルタンツ協会(2013)2013年度版開発途上国の森林・林業。

<sup>3</sup> 出典：FAO(2012a) Socio Economic Implications.

<sup>4</sup> 出典：United Republic of Tanzania(2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 1-3.

<sup>5</sup> 出典：UN data

<sup>6</sup> 出典：FAO(2010) Global Forest Resources Assessment 2010, Global Tables.

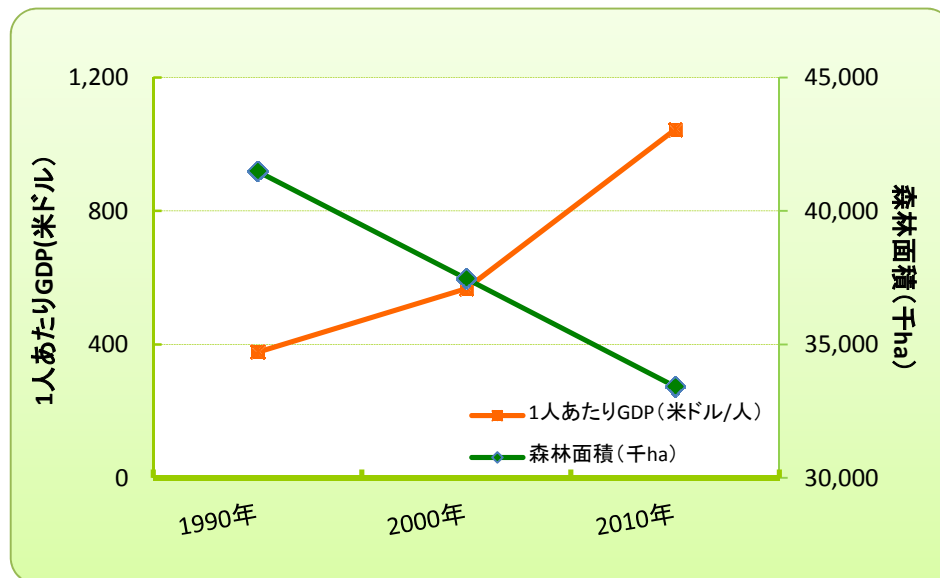


図 1-1 タンザニアの1人あたりGDPと森林面積(1990～2010年)<sup>6</sup>

## 1.2 今後の森林計画等

- タンザニアではREDDプラス戦略<sup>7</sup>の下、実施体制の強化、能力開発、REDDプラスに関する情報共有システム、啓蒙の強化、様々な農業・生態区分での森林減少の要因に対処するためのメカニズムの強化等を目標として、REDDプラス実施に向けた準備を進めている。また、REDDプラス戦略は、既存の国家戦略(Vision 2025)、1997年に策定された国家環境政策、1998年に策定された参加型森林管理を促進する森林政策、そして1995年に策定された国土政策等とも関連・調和させながら進められる予定となっている。

<sup>7</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2013a) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+).

# 2

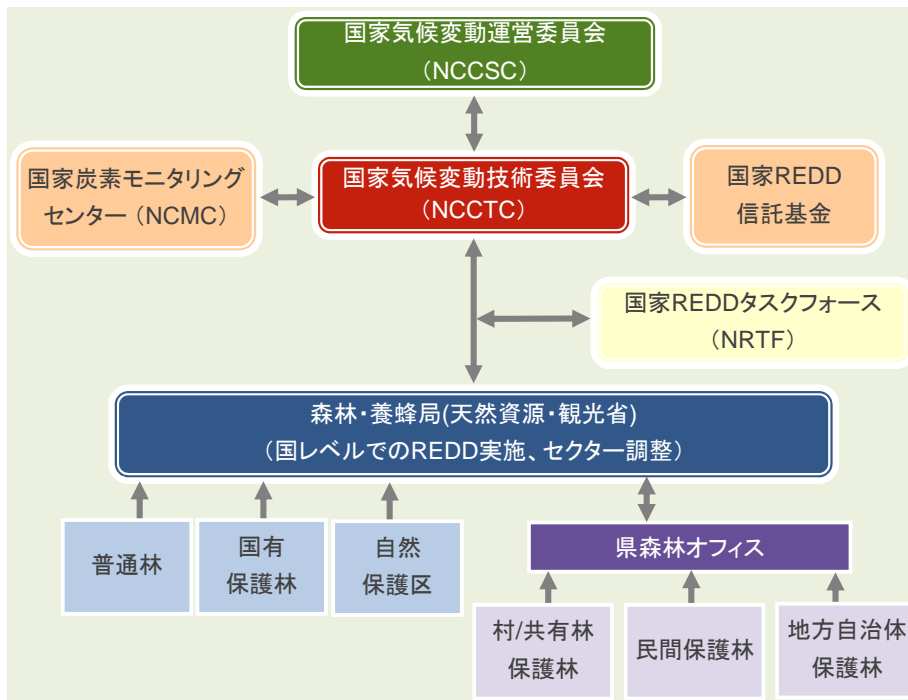
## REDDプラスへの取組状況

### 2.1 取組開始

- 2008年にタンザニア政府とノルウェー政府との間で気候変動・森林に関する二国間合意が成立し、REDDプラスに係る政策、官・民・NGOの3者によるREDDプラスメカニズムとパイロット事業、REDDプラスに関する研究・訓練・教育の実施、MRVシステム開発を含む制度的な発展、REDDプラスの資金システムの開発、成果ベースの資金配分等に焦点を当てた取組が開始された。

### 2.2 REDDプラス実施体制

- タンザニアでは、REDDプラスに関する活動の調整は、国、県、地域(村等)の3レベルにて実施されている。
- 国家気候変動運営委員会(National Climate Change Steering Committee : NCCSC)は、国家レベルの気候変動問題全体を担当する副大統領府に対して報告を行う委員会であり、REDDプラスにおいては、REDDプラス実施に関する全体的な助言、実施の監督を担当している。エネルギー、財務、産業、法務、国土、農牧畜開発、外務等、13省庁の事務次官から構成されている。
- 国家気候変動技術委員会(National Climate Change Technical Committee : NCCTC)は、REDDプラス戦略の実施を含む気候変動に関する課題実施の技術的な監督を担当しており、各省庁の局長から構成されている。
- 国家炭素モニタリングセンター(National Carbon Monitoring Center : NCMC)は、REDDプラス活動のMRVに関する技術的なサービスを提供するセンターとして設置予定である。
- 国家REDD信託基金(National REDD Trust Fund)は、REDDプラス戦略実施のための財源を管理し、関係機関に対して配分の実施機関として設置予定である。
- 2009年に国家REDDタスクフォース(National REDD Task Force : NRTF)が設置されたが、ここではREDDプラスに関する活動を調整し、REDDプラスの準備に関する技術的、実務的な課題を監督している。政府によって任命された12名で構成されており、最終的に恒久的な機関になる予定である。
- 天然資源・観光省(Ministry of Natural Resources and Tourism : MNRT)内の森林・養蜂局(Forestry and Beekeeping Division)は、森林政策、調整の責任を有し、国家REDDプラス戦略策定プロセスを実施している。
- REDDプラス技術作業部会は、国家REDDプラス戦略策定プロセスに対して、技術的な情報を提供し、活動計画策定に向けたシンクタンクとしても機能する。
- 国家REDDプラス事務局は、国家REDDタスクフォース(NRTF)やREDDプラス技術作業部会の活動支援を実施し、国ベースでの能力開発における支援を実施する。

図 2-1 REDDプラス実施体制(案)<sup>8</sup>表 2-1 主だったREDDプラス関係省庁及びその役割(案)<sup>8</sup>

組織名	REDDプラス実施の際に想定される役割
森林・養蜂局 (Forestry and Beekeeping Division)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 森林政策、調整の責任を有する</li> <li>■ REDDプラスの準備活動及び実施の責任機関</li> <li>■ 天然資源観光省(MNRT)の下に設置されている</li> </ul>

## 2.3 FCPF及びUN-REDDへの参加

- 2009年に、世界銀行森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) の準備基金へ Readiness Preparation Idea Note (R-PIN) を提出した。その後、2010年には、Readiness Preparation Proposal (R-PP) を提出し、承認された。ただし、REDDプラス準備段階はノルウェー政府からの資金支援約17百万米ドルを主な資金源として進めることとしており、世界銀行FCPFの準備基金へは資金支援を要請していない<sup>9</sup>。
- 2008年より、UN-REDDプログラムへの参加に向けた協議を開始し、2009年に3年間で約4.3百万米ドルの資金支援が承認された。タンザニアはUN-REDDの支援を受け国家REDDプラス戦略の策定に取り組み、2012年末に作業を完了し、2013年3月に公開した<sup>10</sup>。その後、UN-REDDプログラムのフェーズ2に向けた準備を進めている。

<sup>8</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 12.

<sup>9</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2014) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania April, 2014.

<sup>10</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2013b) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania June, 2013.

## 2.4 REDDプラス実施のための国内制度設計

### 2.4.1 国家戦略

- 2013年3月、国家REDDプラス戦略及び行動計画が国内で承認された<sup>11</sup>。国家REDDプラス戦略は、既存の国家戦略(Vision 2025)、1997年に策定された国家環境政策、1998年に策定された参加型森林管理を促進する森林政策、そして1995年に策定された国土政策等とも関連・調和させながら進められる予定となっている。(再掲)

### 2.4.2 REDDプラス実施にあたっての許可制度<sup>12</sup>

- タンザニアでは、1997年に制定されたタンザニア投資法(Tanzania Investment Act)に基づき、海外の投資家が土地の配分を受けることが可能である。
- タンザニアでは、基本的に土地所有権を州が有している。一定期間の活動実施にあたっては、関連法に基づく手続きにより政府(土地・住宅省(Ministry of Lands and Human Settlements : MLHS))から土地を借りることができる。土地の貸借期間は最大99年間である。
- タンザニアでは、慣習法に基づいて村が州有地を使用している場合もあるが、上記の手続きによりこの慣習法を抹消し、プロジェクト実施者が土地の使用権を得ることが可能となる。
- 土地使用権の貸借にあたっては、地代の支払い条件を設定すること(例 : 0.4米ドル/エーカー・年)、関連法に基づき土地の持続可能な利用に努めること、再植林による森林保全を進めること、土地の境界を明確にして標識を設置することといった条件に対応する必要がある。

### 2.4.3 参照レベル

- 現時点では、UNFCCCへ参照レベルは提出されていない。
- 参照レベルの設定に向けて、国家森林資源モニタリング・評価(National Forestry Resources Monitoring and Assessment : NAFORMA)及び国家炭素計測システム(National Carbon Accounting System : NCAS-T)の開発が進められている。

<sup>11</sup> 出典 : United Republic of Tanzania (2013) Using spatial information to support decisions on safeguards and multiple benefits for REDD+ in Tanzania.

<sup>12</sup> 出典 : Green Resources (2009) Reforestation in grassland areas of Uchindile, Kilombero, Tanzania & Mapanda, Mufindi, Tanzania.



## ■ 2.4.4 モニタリングシステム

---

- タンザニアはREDDプラスに関するMRVシステム構築に先駆け、フィンランド政府及び国連食糧農業機関 (Food and Agriculture Organization : FAO) の支援の下、2009～2013年に、REDDモニタリング・レポートやMRVシステムの構築に必要なデータ(森林資源インベントリ)の作成を目的としたNAFORMAプロジェクトを実施した<sup>13</sup>。
- 国家森林資源モニタリング・評価 (NAFORMA) プロジェクトでは、森林モニタリングに関する調査マニュアルの策定、森林資源データベースの構築、森林ガバナンスの強化に向けた検討を実施した。
- NAFORMAプロジェクトで得られた森林資源等に関するデータを活用し、MRVシステムの構築が進められる予定である。2015年11月、ノルウェーから37百万ノルウェークローネの資金支援(2015～2018年)を受けてMRVシステムの開発及び管理を行うための国家炭素モニタリングセンター (National Carbon Monitoring Centre : NCMC) の設置が決定した<sup>14</sup>。

## ■ 2.4.5 セーフガード

---

- 国家炭素モニタリングセンター (NCMC) で開発されるMRVシステムの中で、REDDプラスプロジェクトの登録管理やセーフガード情報システムについて検討を行う予定としている。

## ■ 2.4.6 利益配分システム

---

- 利益配分に関する明確な規定はない。国家REDDプラス戦略には、結果に基づく支払いからの利益配分を行うためにREDD+信託基金を設置する予定であることが示されている。
- プロジェクトの中には、取組実施による温室効果ガス (Greenhouse Gas : GHG) 排出削減の効果をプロジェクト実施者が全て獲得できるが、収益の10%を対象地を含む地域コミュニティへ還元する形で再投資しなければならないという取り決めを行っている例がある<sup>12</sup>。

<sup>13</sup> 出典 : FAO (2013) National forest assessments- country projects: Tanzania.

<sup>14</sup> 出典 : Norway (2015) Tanzania establishes National Carbon Monitoring Centre with Norwegian support.

## ■ 2.4.7 REDDプラス戦略発展プロセス

- タンザニアの参加型森林管理(Participatory Forest Monitoring : PFM)は、中央政府から地方政府への実質的な森林管理権利の移譲という意味があり、地方分権的な森林管理が導入されている。そして、参加型森林管理(PFM)には、コミュニティベースの森林管理、中央政府の森林局での共同森林管理(Joint Forest Management : JFM)の2種類がある。タンザニアは参加型森林管理(PFM)がREDDプラス実施の原動力になると期待しており、2009年には国家REDDタスクフォース(NRTF)を設置し、その下に5つのワーキンググループ(WG)を配置した(MRVシステム、政策・法律・ガバナンス・REDDプラスセーフガード、REDDプラスの資金メカニズム、エネルギードライブ、農業ドライブの5つ)。
- タンザニアのREDDプラス戦略発展プロセスは以下の通りである。
  - 初期分析フェーズ : タンザニアにおけるREDDプラスの可能性を特定する調査、REDDプラス実施能力の向上、課題の選定
  - 戦略的分析及びパイロットフェーズ : より深い分析とパイロットプロジェクトの実施(例: REDDプラス見直しのための政策、法律、制度の枠組み構築)
  - 戦略調整フェーズ : 戦略案共有のためのワークショップ開催、コメントの交換等
- 現在は参加型で機能的なモニタリングのためのMRVシステムの確立に向けた取組を開始した段階で、システム確立後に国ベース、県ベース、地域ベースにおいて国家森林資源モニタリング評価プロジェクトを実施する予定である。また、9つのパイロットプロジェクトでは参照シナリオを作成している。

## ■ 2.5 活動スケジュール及び資金計画

- タンザニアは、REDDプラスの準備段階の実施における推定費用を示している(表2-2)。
- タンザニアでは、REDDプラスの資金支援として、ノルウェー政府から約17百万米ドル<sup>15</sup>、UN-REDDから約4.3百万米ドル<sup>16</sup>の拠出が承認されている。
- 世界銀行FCPF準備基金のR-PPの活動では、ノルウェー政府やUN-REDDに加え、国家森林資源モニタリング・評価(NAFORMA)プロジェクト及び気候変動、適応と緩和(Climate Change, Impacts, Adaptation and Mitigation Tanzania : CCIAM)プログラムのプロジェクト予算も資金計画に含まれている(プロジェクトの詳細は、それぞれ3.1、4.3にて後述)。

<sup>15</sup> 出典 : United Republic of Tanzania (2014) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania May, 2014. FCPF

<sup>16</sup> 出典 : UN-REDD (2014) The United Republic of Tanzania.

表 2-2 REDDプラス準備段階における推定費用等<sup>17</sup>

大項目	中項目	推定費用(単位:千米ドル)				
		2010	2011	2012	2013	計
組織・協議 体制整備	—	577	498	597	356	2,087
REDDプラス 戦略の構築	土地利用、森林県連 法及びガバナンスの 評価	265	100	0	0	365
	REDDプラス戦略オ プション	380	417	352	240	1,389
	REDDプラス実施の 枠組み構築	265	210	260	215	950
	社会・環境影響	325	170	120	30	625
参照レベル 開発	—	530	530	335	160	1,555
モニタリング システム設 計	—	281	275	310	310	1,049
取組のモニ タリング評 価枠組み設 計	—	795	1,080	1,030	565	3,470
計		3,418	3,280	3,004	1,876	11,490
資金源	政府	473	155	115	113	856
	FCPF	0	0	0	7	7
	UN-REDDプログラ ム	1,170	690	448	428	2,736
	ノルウェー・タンザニ ア気候変動パートナ ーシップ	1,068	1,758	1,771	993	5,590
	クリントン気候イニシ アティブ(Clinton Climate Initiative : CCI)	260	237	137	87	721
	NAFORMA	80	50	50	50	330
	CCIAM	150	128	120	120	518

(注) 各年の金額の和と合計値が一致していない箇所があるが、R-PPに示された金額をそのまま記載。

(注) 上記試算は、R-PPにおける活動のみの資金計画であり、各資金源からの拠出予定額の一部のみを示している。

(注) 表中の金額は、R-PPに示された2010年時点の計画である。

<sup>17</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 46 Table 2d.

## 2.6 REDDプラスへの取組(年表)

表 2-3 REDDプラスに関する主な取組

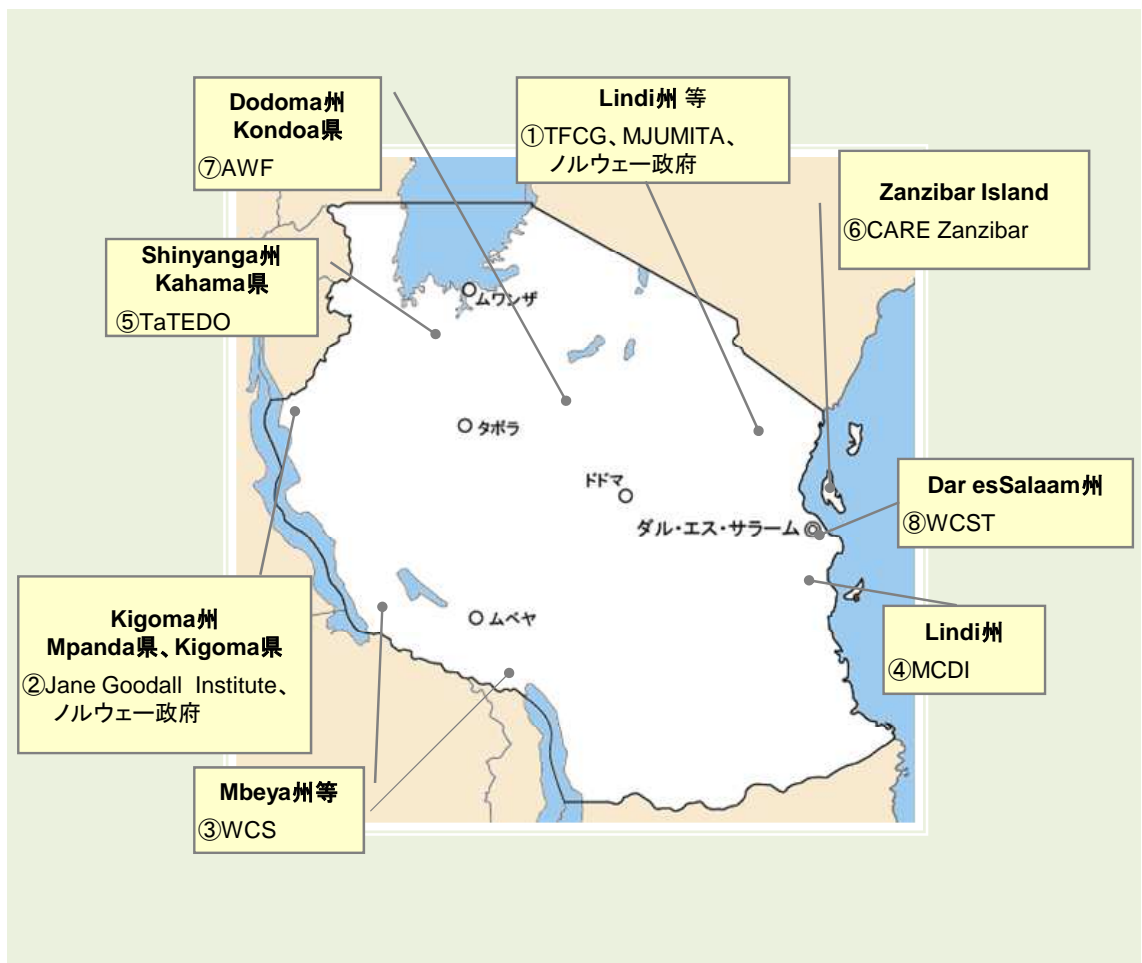
REDDプラスに関する主だった取組	
2004年	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理法 (Environmental Management Act) 策定。同法により、副大統領府の環境部が気候変動に関する全ての課題の調整役となることを規定</li> </ul>
2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月、ノルウェー政府と、気候変動に関する課題への対応についてパートナーシップを形成するための同意書に署名</li> <li>タンザニア政府がREDDプラス準備段階を開始</li> </ul>
2009年	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月、国家REDDタスクフォース (NRTF) を設置</li> <li>2月、世界銀行FCPF準備基金に、改訂版R-PINを提出</li> <li>5月、FAOと、森林資源のモニタリング・評価を目的とした国家森林資源モニタリング・評価 (NAFORMA) に関する信託基金協定を締結</li> </ul>
2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月、世界銀行FCPF準備基金にR-PPを提出</li> </ul>
2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月、REDDプラス戦略文書を発表</li> </ul>
2012年	<ul style="list-style-type: none"> <li>REDDプラスに関するウェブサイトを構築・公開</li> <li>10月、国連開発計画 (United Nations Development Programme : UNDP) との連携の下、REDDプラス・キャパシティ・ニーズ評価 (Capacity Needs Assessment : CNA) を、2012～2017年の能力開発計画の一環として実施</li> <li>12月、国家REDDプラス戦略の策定を完了</li> </ul>
2013年	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月、国家REDDプラス戦略を公開</li> <li>6月、国家森林資源モニタリング・評価 (NAFORMA) プロジェクトの成果を公開</li> </ul>
2015年以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家炭素モニタリングセンター (NCMC) 及びREDDプラス信託基金を設置予定</li> <li>UN-REDDの支援のもと、政策・規則類の整備、国ベースの参照レベル設定、セーフガード情報システムの構築を実施予定</li> </ul>

# 3

## 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

### 3.1 主だったREDDプラス関連事業の実施状況

- 2015年12月末現在で9件のパイロット事業が政府公認の下で実施されてきたが、一部のプロジェクトは期間終了をむかえ、レビュー報告書の作成が開始されている。(図3-1及び表3-1中の①～⑧の取組とWWF Tanzaniaの国ベースの取組)。



(注) 2015年12月31日現在実施中の主だった事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

(注) プロジェクト実施主体等が公開している情報から主だった事業を整理した。

図 3-1 タンザニアにおける主だったREDDプラス関連事業の実施地域及び実施団体

表 3-1 タンザニアにおける主だったREDDプラス関連事業実施及び資金支援の状況

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
二国間 支援	ノルウェー政府	<ul style="list-style-type: none"> <li>国ベースの取組</li> <li>2009年から、ノルウェー政府はREDDプラスに関する様々な支援を提供<sup>18</sup>。</li> <li>2009～2013年に、国家REDDプラス戦略の策定、情報共有を目的とするプロジェクトを実施。</li> <li>2010～2014年に、森林モニタリング、REDD財政メカニズム構築支援を実施。</li> <li>2015～2018年に、MRVシステム開発・管理支援を実施。</li> </ul>
二国間 支援	フィンランド政府、FAO	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名：NAFORMA<sup>19</sup></li> <li>国ベースの取組</li> <li>2009年5月に開始、プロジェクト期間は3年間。</li> <li>タンザニアの森林基盤データの整備及び管理に係る技術支援を実施。</li> <li>REDDプラスモニタリング・レポートやMRVシステムの構築に必要なデータ(森林資源インベントリ)作成を目的とする「森林資源のモニタリングと評価」に関するプロジェクト。</li> <li>森林資源インベントリは、当初予定から1年おくれで2013年に作成を完了し、2013年6月に最終ワークショップを開催。</li> </ul>
① 二国間 支援	ノルウェー政府、Tanzania Forest Conservation Group (TFCG)、The Tanzanian Community Forest Conservation Network (MJUMITA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名：Making REDD Work for Communities and Forest Conservation in Eastern Arc Mountains and Coastal Forests of Tanzania<sup>20</sup></li> <li>実施場所：Lindi州、Dodoma Mpwapwa県、Morogoro州 Kilosa県</li> <li>Kilosa県等を対象とした、2009年9月から5年間のプロジェクト。</li> <li>対象となる森林面積は約5万ha、プロジェクト費用は約5.9百万米ドル。</li> <li>貧困層に裨益するコミュニティ重視のREDDプラスのパイロットプロジェクト。</li> <li>活動は、コミュニティへのキャパシティ・ビルディング及びカーボン企業の設立等。</li> </ul>

<sup>18</sup> 出典：Government of Norway (2015) Climate Change and Environment.

<sup>19</sup> 出典：FAO (2013) National forest assessments- country projects: Tanzania.

<sup>20</sup> 出典：Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania.

表 3-1 つづき

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
② 二国間 支援	ノルウェー政府、 Jane Goodall Institute (JGI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Building REDD Readiness in the Masito Ugalla Ecosystem Pilot Area in Western Tanzania in Support of Tanzania's National REDD Strategy<sup>21,22</sup></li> <li>実施場所 : Kigoma州Mpanda県、Kigoma県</li> <li>2010年にノルウェー大使館等から2.7百万米ドルの資金を得て、タンザニア西部で実施されているREDDプラスパイロットプロジェクト。約70千haの森林が対象。プロジェクト終了に伴うレビュー報告書が2014年に作成された。</li> <li>活動の一環として、コミュニティの森林のインベントリ、モニタリング、管理に関する研修を実施。</li> </ul>
NGOに よる支援	WWF Tanzania	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Enhancing Tanzanian Capacity to Deliver Short and Long Term Data on Forest Carbon Stocks across the Country<sup>23</sup></li> <li>国ベースの取組。</li> <li>2011～2014年に、国内にある森林の炭素貯蔵に関するデータの収集、管理を目的としたネットワークの形成と、そのための能力強化を実施。プロジェクト終了に伴う報告書が作成された。</li> </ul>
③ NGOに よる支援	Wildlife Conservation Society (WCS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Southern Highlands Conservation Programme<sup>24</sup></li> <li>実施場所 : Mbeya州等(タンザニア南部)</li> <li>2000年に開始、2013年に終了予定。</li> <li>対象地面積は、約53千ha。</li> <li>タンザニア南部高地におけるREDDプラス活動に参加するためのキャパシティ開発を目的とする。</li> </ul>
④ NGOに よる支援	Mpingo Conservation & Development Initiative (MCDI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Mpingo Conservation &amp; Development Initiative (MCDI)<sup>25</sup></li> <li>実施場所 : Lindi州(タンザニア南東部)</li> <li>2010年に開始されたREDDプラスパイロットプロジェクト。</li> <li>参加型森林管理活動とFSC認証取得を統合的に実施する。</li> </ul>

<sup>21</sup> 出典 : The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program.

<sup>22</sup> 出典 : Royal Norwegian Embassy in Tanzania (2014) End Review of the REDD+ pilot project implemented by the Jane Goodall Institute in Kigoma, Tanzania Final Report.

<sup>23</sup> 出典 : Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania.

<sup>24</sup> 出典 : WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme.

<sup>25</sup> 出典 : Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project.

表 3-1 つづき

事業/支援タイプ	主だった実施主体	取組の概要
パイロット事業実施		
⑤ NGOによる支援	Tanzania Traditional Energy Development and Environment Organization (TaTEDO)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region) Pilot Project<sup>26</sup></li> <li>実施場所 : Shinyanga州 Kahama県等(タンザニア西部)</li> <li>2010～2013年までの4年間、ノルウェー外務省からの資金支援を受けて実施。プロジェクト終了に伴う報告書が作成された。</li> <li>コミュニティベースでREDDプラスを実施するための制度的枠組みの形成と能力開発を目的としたプロジェクト。</li> </ul>
⑥ NGOによる支援	CARE Zanzibar	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Piloting REDD in Zanzibar through Community Forest Management<sup>27</sup></li> <li>実施場所 : Zanzibar Ungula島、Pemba島</li> <li>2010～2013年の4年間のプロジェクト。</li> <li>27千haの森林を対象としたREDDふうパイロットプロジェクトを実施。</li> <li>コミュニティの森林管理を通じて男女差別と貧困をなくすことを目的とする。</li> </ul>
⑦ NGOによる支援	African Wildlife Foundation (AWF)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Advancing REDD in the Kolo Hills Forests (ARKFor) in Central Tanzania<sup>28</sup></li> <li>実施場所 : Dodoma州Kondoa県KOLO Hills</li> <li>タンザニア中部Kondoa県のKolo Hillsの約56千haを対象とした3年間のREDDプラスパイロットプロジェクト。</li> <li>プロジェクトを通じて2.6百万t-CO<sub>2</sub>削減が期待されている。</li> </ul>
⑧ NGOによる支援	Wildlife Conservation Society of Tanzania (WCST)	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト名 : Conserve the Lungs of Dar es Salaam<sup>29</sup></li> <li>実施場所 : Dar es Salaam州</li> <li>プロジェクト実施期間2011～2015年。</li> <li>州内のPugu森林保護区及びKazimzumbwi森林保護区における、森林減少・劣化抑制等のREDDプラスプロジェクト。</li> </ul>

(注) 左列の番号は、図3-1と対応。

## 3.2 日本の支援事業

- 2015年現在、タンザニアでは国際協力機構(JICA)や無償資金協力等の日本の支援による森林保全分野での取組は実施されていない。

<sup>26</sup> 出典 : TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region).

<sup>27</sup> 出典 : United Republic of Tanzania (2013c) CARE Zanzibar.

<sup>28</sup> 出典 : African Wildlife Foundation (2012) Advancing REDD in the Kolo Hills Forests (ARKFor).

<sup>29</sup> 出典 : United Republic of Tanzania (2013d) WCST.



# 4

## その他

### 4.1 UNFCCCへの関与情報

#### 4.1.1 UNFCCCでの取組状況

表 4-1 UNFCCCでの取組状況<sup>30,31</sup>

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名：1992年6月12日、批准：1996年4月17日
京都議定書	批准：2002年8月26日
DNA担当組織	副大統領府 環境局 (Department of Environment, Vice Presidents Office)
第1次国別報告書	2003年7月4日提出
第2次国別報告書	未提出(2015年12月31日現在)
隔年更新報告書	未提出(2015年12月31日現在)
各国が自主的に決定する 約束草案	2015年9月29日提出

#### 4.1.2 NAMAsにおけるREDDプラスの位置づけ

- 森林分野のNAMAs実施方針として、森林資源のモニタリング、評価・査定技術の開発・強化を実施し、総合的な資源管理を実行するという<sup>32</sup>。しかし、REDDプラスという文言は用いられていない。

#### 4.1.3 INDCにおけるREDDプラスの位置づけ、REDDプラスへの言及<sup>33</sup>

- 緩和活動に1つに、REDDプラス関連活動を位置づけている。

### 4.2 UNFCCCへ提出している森林情報

表 4-2 A/RCDMのための森林定義<sup>34</sup>

項目	値
森林面積	最小0.05ha
樹冠率	最低10%
樹高	最小2m

表 4-3 A/R CDMの対象森林<sup>34</sup>

項目	A/R CDMの対象状況
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

<sup>30</sup> 出典：UNFCCC (2013a) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania.

<sup>31</sup> 出典：UNFCCC (2014b) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties.

<sup>32</sup> 出典：FAO (2012b) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture : Annex E.

<sup>33</sup> 出典：United Republic of Tanzania (2015) INTENDED NATIONALLY DETERMINED CONTRIBUTIONS (INDCs).

<sup>34</sup> 出典：UNFCCC (2013b) Designated National Authorities.

## 4.3 その他の特徴的な地球温暖化対策

- タンザニアでのREDDプラス実施における課題として、森林評価やデータ管理に関する能力不足、地域レベルでの不十分な法執行、広大な森林の所有権が未確定であること、森林セクターの資金不足、県や省レベルでの人材不足等が指摘されている<sup>35</sup>。
- 2009年より、気候変動に関する研究やキャパシティ・ビルディングのために、気候変動影響、適応と緩和(Climate Change Impacts, Adaptation and Mitigation : CCIAM)プログラムが開始された。ノルウェーからの支援を受けて、5年間のプログラムとしてSokoine農業大学(Sokoine University of Agriculture : SUA)とノルウェー生命科学大学(Norwegian University of Life Sciences : NMBU)において、気候変動に関する研究、キャパシティ・ビルディング、及び学生の交換留学が実施されている。CCIAMプログラムでは、REDDプラス活動に関連する生計改善のための農法、天然林保全による炭素強化等を取組の1つとして進められている。

### 出典・参考資料

- African Wildlife Foundation (2012) African Wildlife Foundation (2012) Advancing REDD in the Kolo Hills Forests (ARKFor). AWF  
[http://www.awf.org/old\\_files/documents/climatechange/Kolo\\_Hills\\_08232012.pdf](http://www.awf.org/old_files/documents/climatechange/Kolo_Hills_08232012.pdf)
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO  
<http://www.fao.org/forestry/fra/fra2010/en/>
- FAO (2012a) Socio Economic Implications. FAO  
<http://www.fao.org/docrep/003/AB575E/AB575E05.htm>
- FAO (2012b) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture. FAO  
[http://www.fao.org/docs/up/easypol/881/nationally\\_appropriate\\_mitigation\\_actions\\_NAMAS\\_103EN.pdf](http://www.fao.org/docs/up/easypol/881/nationally_appropriate_mitigation_actions_NAMAS_103EN.pdf)
- FAO (2013) National forest assessments- country projects: Tanzania. FAO  
<http://www.fao.org/forestry/17847/en/tza/>
- Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project. Forest Carbon Portal  
<http://www.forestcarbonportal.com/project/mcdi-redd-project>
- Government of Norway (2015) Climate Change and Environment. Norway the official website in tanzania  
[http://www.norway.go.tz/News\\_and\\_events/Climate-Change/](http://www.norway.go.tz/News_and_events/Climate-Change/)
- Green Resources (2009) Reforestation in grassland areas of Uchindile, Kilombero, Tanzania & Mapanda, Mufindi, Tanzania. VCS  
[http://www.vcsprojectdatabase.org/#/project\\_details/142](http://www.vcsprojectdatabase.org/#/project_details/142)
- HIMADA project (2011) HIMADA Communication Strategy For Forest Adjacent Communities surrounding Pugu and Kazimzumbwi Forest Reserves.  
[http://www.emnet.omis.co.tz/index.php?option=com\\_phocadownload&view=category&id=1&Itemid=54](http://www.emnet.omis.co.tz/index.php?option=com_phocadownload&view=category&id=1&Itemid=54)
- 海外林業コンサルタンツ協会 (2013) 2013年度版開発途上国の森林・林業. 海外林業コンサルタンツ協会  
[http://www.jofca.or.jp/\\_files/publication/F13.pdf](http://www.jofca.or.jp/_files/publication/F13.pdf)
- Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania. The katoomba group  
<http://www.katoombagroup.org/documents/events/event18/STATUSOFREDDREADINESSINTANZANIA-KATOOMBA2.pdf>
- Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania. Tanzania Forest Conservation Group  
<http://www.tfcg.org/makingReddWork.html>
- Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania. Tanzania REDD+ Initiative
- TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngtilis in Shinyanga Region) Pilot Project. REDD desk  
<http://theredddesk.org/countries/initiatives/community-based-redd-mechanisms-sustainable-forest-management-semi-arid-areas>

<sup>35</sup> 出典 : Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania.

- The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program. the Jane Goodall Institute <http://www.janegoodall.org/programs/tanzania-redd-program>
- Royal Norwegian Embassy in Tanzania (2014) End Review of the REDD+ pilot project implemented by the Jane Goodall Institute in Kigoma, Tanzania Final Report. Norway the official website in Tanzania [http://www.norway.go.tz/PageFiles/718208/REDD\\_End\\_Review\\_Report\\_May.pdf](http://www.norway.go.tz/PageFiles/718208/REDD_End_Review_Report_May.pdf)
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UN-REDD (2009) Standard Joint Programme Document. UN-REDD <http://www.un-redd.org/Portals/15/documents/events/20090309Panama/Documents/Un-REDD%20Tanzania%20NJPD.pdf>
- UNFCCC (2014a) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania. UNFCCC [http://unfccc.int/parties\\_and\\_observers/parties/items/2352.php](http://unfccc.int/parties_and_observers/parties/items/2352.php)
- UNFCCC (2014b) Submitted biennial update reports (BURs) from non-Annex I Parties. UNFCCC [http://unfccc.int/national\\_reports/non-annex\\_i\\_natcom/reporting\\_on\\_climate\\_change/items/8722.php](http://unfccc.int/national_reports/non-annex_i_natcom/reporting_on_climate_change/items/8722.php)
- UNFCCC (2014c) Designated National Authorities. UNFCCC\_ <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP). FCPF [http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2010/REVISED\\_FINAL\\_Tanzania.R-PP\\_main\\_document.V12\\_7.10.2010\[1\].pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2010/REVISED_FINAL_Tanzania.R-PP_main_document.V12_7.10.2010[1].pdf)
- United Republic of Tanzania (2013a) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+). REDD+ Initiative in Tanzania [http://www.reddtz.org/?publication=national-redd-strategy&wppa\\_open=1](http://www.reddtz.org/?publication=national-redd-strategy&wppa_open=1)
- United Republic of Tanzania (2013b) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania June, 2013. FCPF [http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/june2013/Tanzania\\_Fact\\_Sheet\\_June\\_2013.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2013/june2013/Tanzania_Fact_Sheet_June_2013.pdf)
- United Republic of Tanzania (2013c) CARE Zanzibar. REDD+ Initiative in Tanzania
- United Republic of Tanzania (2013d) WCST. REDD+ Initiative in Tanzania
- United Republic of Tanzania (2014) REDD Readiness Progress Fact Sheet: Tanzania May, 2014. FCPF [http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/May/Tanzania\\_-\\_FCPF\\_Fact\\_Sheet\\_April\\_2014.pdf](http://www.forestcarbonpartnership.org/sites/fcp/files/2014/May/Tanzania_-_FCPF_Fact_Sheet_April_2014.pdf)
- United Republic of Tanzania (2015) INTENDED NATIONALLY DETERMINED CONTRIBUTIONS (INDCs). UNFCCC [http://www4.unfccc.int/submissions/INDC/Published%20Documents/United\\_Republic\\_of\\_Tanzania/1/INDCs\\_The\\_United\\_Republic\\_of\\_Tanzania.pdf](http://www4.unfccc.int/submissions/INDC/Published%20Documents/United_Republic_of_Tanzania/1/INDCs_The_United_Republic_of_Tanzania.pdf)
- WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme. WCS Tanzania <http://www.wcstanzania.org/shcp.htm>

本レポートは、2015年12月31日までに公表された情報に基づく。